

# つながりサポート相談支援事業【旭川市】

個別事業費	5,330 千円
交付金額	3,997 千円

## 地域の実情と課題

- ・景気の影響を受けやすい女性の就労状況  
非正規従業員の割合は、男性については60歳以上が5割を占めているが、女性の場合は59歳以下が7割を超えているため、女性の方がより景気による影響を受けやすく、失職後に深刻な状況に陥りやすい。
- ・女性の困窮  
世帯の家族類型別推移では、女親と子どもからなる世帯の割合は増加傾向にあり、地域女性の就労状況も相まって生活に不安を抱える女性は相当数存在する。また、若年層を中心に電話や対面による相談を忌避する傾向が強く、必要な支援につながりにくい。

## 事業の特徴

- ・不安や困難を抱える女性のためのLINE相談の開設や出張相談の実施
- ・若年女性が多数滞在する旭川駅や商業施設のトイレに相談窓口周知カードを同封した生理用品の設置・配布
- ・義務教育が終了する中学3年の全女子生徒を対象に、相談窓口周知カードを同封した生理用品を配付
- ・相談業務従事者を対象とした相談員のスキルアップを目的に、発達障害、精神障害への対応力向上を題材とした研修会等を開催

## 事業の効果

- ・電話や面談より相談の心理的ハードルが低いLINEを活用したことで、既存の相談窓口を忌避する傾向にある若年女性を中心にLINE相談の利用を促すことができた。
- ・公的支援を忌避する若年層にも相談窓口情報が届くよう、市有施設のみならず大規模商業施設や駅での啓発資材の設置等により、相談窓口の認知度を高めた。

## 目的・目標

従来の相談窓口から一歩踏み込んだ新たなアプローチ方法による相談支援を行い、幅広い世代の女性に対し、不安解消や問題解決に向けた支援につなげる取組を行う。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	相談者数(延べ)	150人	304人	202%
事業KPI	窓口周知資材配付個数	21,250個	12,944個	60%

## 連携団体

中学校・高等学校・大学・専門学校、旭川市女性相談室(配偶者暴力相談支援センター)、社会福祉協議会、イオンモール旭川駅前、あさひかわ若者サポートステーション 他

## 今後の課題

持続的なLINE相談窓口の周知が必要。また、年層やシングルマザーが多く集まる既存の子ども食堂を活用し出張相談を開催してきたが、より多くの来場者が期待できるイベント等での出張相談の開催による困難を抱える市民の掘り起こしが必要。

## つながりサポート相談支援事業

### 【地域の実情と課題】

景気の影響を受けやすい女性の就労状況と女性の経済的困窮、若年層を中心に電話や対面といった既存の相談形態を忌避する傾向が強く必要な支援につながりにくい

### 【内容】

#### ・アウトリーチによる相談支援体制の強化

LINE相談の開設、出張相談の実施

#### ・相談窓口の積極的な周知

市有施設や商業施設に相談窓口周知カードを同封した生理用品の設置・配付、市内中学3年生の全女子生徒に対し相談窓口カードを同封した生理用品を配付

#### ・相談支援体制の強化

相談業務を行う庁内の窓口業務担当で構成する連携会議の開催を通じた連携体制の構築、庁内の相談業務や窓口業務従事者を対象に発達障害、精神障害への対応力向上をテーマに研修会等を開催し、関係者全体の対応支援スキルの底上げを図る

### 【事業目標】

相談者数(延べ) 目標値150人 実績値304人

### 【事業KPI】

窓口周知資材配付回数 目標値21,250個 実績値12,944個

### 【対象経費】

講師謝金、旅費、消耗印刷費、委託料など